

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡療育支援センターいちばん星新宮 児童発達支援センター おほしさま園		
○保護者評価実施期間	令和7年9月16日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55人	(回答者数) 47人
○従業者評価実施期間	令和7年10月23日		～ 令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	・契約時にしっかり話ができていた	・来年度も継続して丁寧な説明を行う。
2	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	・親子療育、送迎時、ハグ、Line、連絡帳を通して全職員が保護者と情報共有できている。	・来年度も継続して丁寧な情報共有を行う。
3	29 事業所の支援に満足していますか。	・毎回の療育の振り返り、研修を生かし、日々再構築している。	・来年度も継続して丁寧な支援を行っていく。 ・今後も研鑽して療育に活かしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	・地域の公園や祭りなどで交流を行っていることをお知らせできていない	・療育のなかで公園遊びやお祭り、お買い物などを通して、地域のこどもとの関わりについて保護者に発信しアピールする
2	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	・保護者へ十分に伝えられていない。 ・親子療育で揃わないことが続くことがある	・兄弟児にフォーカスしたイベント開所日を設定する
3	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	・定期的に行っているが、もっと増やすことができた ・保護者発信によって回数の差があった ・定期的に行っていることをアピールできていなかった	・「モニタリングの面談時期」と半年ごとに定期的にお知らせして定期的に行っていることをお伝えする。 ・困り感を発信されない保護者への面談も積極的に行っていく